

くまさんだより

豊橋東田教会

〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435

ホームページ toyohashi-azumadakyokai.org 武井恵一牧師 080-3428-3200

2018年

8月号

8月19日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

8月12日 聖霊降臨節第十三主日礼拝説教

「喜びで満たされる」武井 恵一牧師

ヨハネによる福音書16章16～24節 新約聖書200～201頁

豊橋東田教会のホームページ

URL: toyohashi-azumadakyokai.org
は見ることが出来なくなっています。
現在、対応策を検討中です。

✦今日の聖書小見出しは「悲しみが喜びに代わる」です。今日、礼拝に来られた皆様の多くは、「悲しみが喜びに変わる」という言葉が何を指しているか、その内容をご存じです。

今、聖書が語っているこの時、主イエスがこの夜逮捕され、そのまま、サンヘドリン・最高会議で裁判、大祭司が『神を冒瀆した』と断罪し、ピラトの死刑決定により、十字架刑で殺されるそして三日目に復活されます。しかし、弟子たちはこれを知りません。

✦弟子たちは、ただ、ただ、この緊張の張りつめた場で「主イエスがどこかへ去られる」ことだけを恐れながら聞いた。今日の主イエスの言葉は、第二の訣別説教、後半です。

ヨハネによる福音書16章5～6節

⁵今わたしは、わたしをお遣わしになった方のもとに行こうとしているが、あなたがたはだれも、『どこへ行くのか』と尋ねない。⁶むしろ、わたしがこれらのことを話したので、あなたがたの心は悲しみに満たされている。

ここで弟子たちは、主イエスにこの場所にとどまってほしかった。でも言い出せない。

✦そして、主イエスは弁護者・聖霊が送られてくることを告げます。

ヨハネによる福音書16章7節

⁷しかし、実を言うと、わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる。わたしが去って行かなければ、弁護者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところへ送る。

弟子たちは、この言葉をしっかり聞いた。

弟子たちはそれぞれ、怖れ、絶望の間近にいました。主イエスがラザロを甦らせたのに、弟子たちは主イエスの復活が信じられなかった。主イエスはそれを知られていました。

ヨハネによる福音書16章16～18節

¹⁶「しばらくすると、あなたがたはもうわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる。」¹⁷そこで、弟子たちのある者は互いに言った。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる』とか、『父のもとに行く』とか言うておられるのは、何のことだろう。」¹⁸また、言った。「『しばらくすると』と言うておられるのは、何のことだろう。何を話しておられるのか分からない。」



❖弟子たちの疑問と不安は大きく、互いに言う『しばらくすると、わたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる』とか、『父のもとに行く』と主イエスは言われた。一何のことだろう。」弟子には分かりません。

ヨハネによる福音書16章19節

¹⁹イエスは、彼らが尋ねたがっているのを知って言われた。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる』と、わたしが言ったことについて、論じ合っているのか。

❖ヨハネによる福音書に「ゲッセマネの祈り」は、記されていません。けれど実際は福音書を記している代表者、ヨハネ自身、ゲッセマネで実際に主が御父に祈られる近くにいました。しかし、主イエスと共にいながら眠気に襲われ、ほとんど分からなかった。

主イエスの最大の悲しみと祈り。父なる神と御子主イエスとの、かつて主イエスが一度も口にされなかった祈りが、なされたと分かったが、そのすべては聞き取れなかった。その記憶を、出来る限り思い起こし、このように、とても分かり難い形で、ですが、神の靈感に与えられたままを記しています。

❖使徒ヨハネは、むしろゲッセマネではなく、復活の主から「今」あたえられた言葉として、弟子たちに語り、ここに記しています。

ヨハネによる福音書16章20節

²⁰はっきり言うておく。あなたがたは泣いて悲嘆に暮れるが、世は喜ぶ。あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わる。

この聖書箇所は、ギリシア語直訳で次のように訳されています。

ギリシア語対訳新約聖書

(川端由喜男訳、教文館)

ヨハネによる福音書16章20節

²⁰まことに、まことにあなた方にわたしは言う。あなた方は泣く、そして嘆く、しかし世は喜ぶ。あなたがたは悲しむ、しかし、その悲しみは喜びに変わる。

❖ここで、主イエスは「世は喜ぶ。」とヨハネを通してはっきり言われました——世と言われているのは、ローマ占領下のイスラエルで、神への宗教を軸にして占領下の政治を握るエルサレム神殿ユダヤ教を指し、「世は」＝「大祭司を指導者とする神殿ユダヤ教は、喜ぶ。」

主イエスの言葉は続きます。以下、新共同訳です

ヨハネによる福音書16章21～22節

²¹女は子供を産むとき、苦しむものだ。自分の時が来たからである。しかし、子供が生まれると、一人の人間が世に生まれ出た喜びのために、もはやその苦痛を思い出さない。²²ところで、今はあなたがたも、悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。

❖主イエスはここで「ところで」と、一旦言葉を切りました。この「ところで」は、直前で例として挙げた「女は子どもを産むとき、苦しいものだ」を例として挙げましたが、「ところで」は「実際に、…」を意味しています。ですから、「今は」とされていますが、むしろ「今は」でなく「今、」とすると、現状との関係がハッキリします。

「今、あなた方も——子どもを産む女性のように苦しみ・悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなた方と会い、あなた方は心から喜ぶことになる。」です。

❖この言葉は、主イエス・キリスト自身が極刑・十字架による死の苦難。更に、父から「見捨てられる」極大の悲しみに直面しつつ、「神を信じるすべての人間に与える永遠の命を、心から喜ぶ、」現実を現しています。



❖主イエス御自身の贖いと和解によって人間世界の現実として与えられる大きな喜びを、主イエスは「ご自身の・弟子たちの喜び」としてここに表されました。

この言葉は、信じる者に刻み込まれます。

主イエス・キリストが究極の喜びを産み出され、喜びが、すべての信じる者に与えられたことを、明らかにされた言葉です。

ヨハネによる福音書16章23節

²³その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。はっきりしておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。

❖ここには、ひそやかに……主イエス御自身が「省みられた」香りがあります。主イエスは父なる神様との間での「特別なつながり、他にはあり得ない関係」を自覚されておられた。

そこで、ヨハネによる福音書16章16節で「しばらくすると、あなた方はもうわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる」と話された。また、ヨハネによる福音書16章10節で『父のもとに行く』とも言われたことが、弟子たちの理解を越えていたと知られた。

❖それは、『父なる神』と『独り子なる主イエス』の存在が人間を超えている以上、仕方がないことと言うしかありませんが、なお、この一連の会話、弟子たちの戸惑いを見られ、主イエスは「省みられた」と思います。

けれども、そこで、主はそのまま「仕方がないこと」にとどめず、弟子たちへの「神様への窓」をここに用意された。ヨハネによる福音書16章23節からの言葉によってわたしたちはそれを知ることができるでしょう。

❖ヨハネによる福音書16章23節の「その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。」この後に続く言葉は、ご存じでしょう。この言葉はとても「重要」であり、「貴重」だと意識されましたか？

「はっきりしておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。」

❖わたしたちは既に、マタイによる福音書7章7～12節と、ルカによる福音書11章9～13節で「求めなさい。そうすれば与えられる。……」という主のうながしを知っています。

これらの言葉が「今日、主イエスがここで言われた、わたしたちへの言葉」と「同じ言葉」とも言えるでしょうが、そうでしょうか？ 改めて、しっかり知る価値があります。

マタイによる福音書7章7～12節

⁷「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。⁸だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。⁹あなたがたのだけれが、パンを欲しがると自分の子供に、石を与えるだろうか。¹⁰魚を欲しがると、蛇を与えるだろうか。¹¹このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。¹²だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

ルカによる福音書11章9～13節

⁹そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。¹⁰だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。¹¹あなたがたの中に、魚を欲しがると子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。¹²また、卵を欲しがると、さそりを与える父親がいるだろうか。¹³このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

以上は共観福音書引用です。次にヨハネ福音書の今日の個所をもう一度読みます。

ヨハネ福音書16章23～24節

²³その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。はっきり言うておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。²⁴今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。」

わたしはキリスト教の教師になってから「キリスト教信仰によって与えられる恵みと喜び」を、キリスト教中心としてお話しし、旧約聖書・新約聖書。讃美歌。教会の礼拝や式典——特に洗礼式、聖餐式。そして、キリスト教会のいろいろな集会などで話し、ご案内してきました。

中でも、教会に来られたことがなく、また、話しているうちに興味を持たれる方々には、もう一歩踏み込んで、神様と、イエス・キリスト、聖霊なる神様を紹介し、「お祈りする——祈祷」と「祈祷によって求め与えられる様々な恵みや喜び」をお話ししました。洗礼に導いた方が二人おられます。

さらに、私自身の経験からお話ししたのは「まだ、わからない状態でも、教会に来ることにつとめ、習慣にすること」。困難な立場にある時、助けを求めたいときは「父なる神様」に祈り、祈ったことは出来るだけ実行に向かうことでした。

小さな体格で弱かった私、しかも突拍子もないことを意図し、何とかして実行して現在に至るわたしの生涯は、何度も何度も苦しいことに出会い。三位一体の神様＝父なる神、神の子イエス・キリストにその度に祈り、求め。そして、応えられました。これによって今日の自分があります。

時々、断片的にそんな体験などをお話しし、ご存知の方もかなりおられます。

けれど、今日のヨハネによる福音書で、今日お話しした『「主イエスの名によって父に祈りなさい」の言葉と約束』を知ったのは、今日の説教を準備した今月8月10日の事です。

ヨハネによる福音書の連続公開説教を始めたのは今年の2月14日主日からでした。教師になってからマタイによる福音書の連続講解説教をし、多くの、大きなものを与えられましたので、ルカによる福音書を断片的に講解説教した後、未熟を自覚しつつヨハネによる福音書に向い、思ってもみなかった喜びと恵みを与えられ続けています。心から主に感謝しています。

マルコによる福音書がユダヤ対ローマ戦争前に記者マルコによって必死の思いの書として出されました。マタイとルカ福音書も続いて出版され、その約20年後、ヨハネによる福音書が出ます。それは、十二使徒の一人ヨハネが中心にいて、ヨハネ個人が記したのではなく、ヨハネ教会、近くのマリア教会、そして、様々な関係教会の力により、主イエスがヨハネに託した、母マリアの貴重な証言にもよっていると見られます。注目したいのは20年余共観福音書を精読した十二使徒のヨハネたちが、全力をこめて第四福音書を世にあらわした現実です。主なる三一の神が働かれ、与えられたのです。

祈り 讃美歌(21) 509「光の子になるために」



新共同訳聖書

〔ヨハネによる福音書16章16～24節〕

¹⁶「しばらくすると、あなたがたはもうわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる。」¹⁷そこで、弟子たちのある者は互いに言った。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる』とか、『父のもとに行く』とか言っておられるのは、何のことだろう。」¹⁸また、言った。「『しばらくすると』と言っておられるのは、何のことだろう。何を話しておられるのか分からない。」¹⁹イエスは、彼らが尋ねたがっているのを知って言われた。「『しばらくすると、あなたがたはわたしを見なくなるが、またしばらくすると、わたしを見るようになる』と、わたしが言ったことについて、論じ合っているのか。²⁰はっきり言うておく。あなたがたは泣いて悲嘆に暮れるが、世は喜ぶ。あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わる。²¹女は子供を産むとき、苦しむものだ。自分の時が来たからである。しかし、子供が生まれると、一人の人間が世に生まれ出た喜びのために、もはやその苦痛を思い出さない。²²ところで、今はあなたがたも、悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。²³その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。はっきり言うておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。²⁴今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。」

教文館 日本語対訳ギリシア語聖書

〔ヨハネによる福音書16章16～24節〕

⁶「しばらくで、そうすると、わたしをもはやあなたがたは見なくなるが、そしてふたたびしばらくたつと、あなた方はわたしを見るようになる。」¹⁷そこで、彼の弟子たちのある者らが互いに言った。「『しばらくすると、そうするとあなたがたはわたしを見なくなる、そして、ふたたびしばらくすると、そうするとあなた方はわたしを見るようになる』。また、『父のもとにわたしは行く』とわたしたちに彼が言う。このことは、何であるか。」¹⁸そこで、彼らは言った。「『しばらくすると』と彼が言うところのこのことは、何であるか。何を彼が言っているのか私たちは分からない。」¹⁹イエスは、彼に質問しようと彼らが欲していたことを知った、そして、彼らに言った。「『しばらくすると、そうすると、わたしをあなたがたは見なくなる。そして、しばらくすると、わたしを見るようになる』。わたしが言ったこと、このことについて、互いに論じているのか。²⁰まことに、まことにあなた方にわたしは言う。あなた方は泣く、そして嘆く、しかし世は喜ぶ。あなたがたは悲しむ、しかし、その悲しみは喜びに変わる。²¹婦人は産むとき、悲しみを持つ。彼女の時が来たから。しかし、子を彼女が生んだ、一人の人が世に生まれたことの喜びのために、苦しみを彼女は思い出さない。²²そのように、あなたがたも、今、悲しみを持つ。しかし、わたしは再びあなたがたとわたしは会う。そして、あなたがたの心は喜ぶ。そして、あなた方の喜びをあなた方から誰も取り去らない。²³そして、その日には、わたしに何もあなた方は質問しない。まことに、まことに、あなた方にわたしは言う。わたしの名において何もあなた方は何も願わなかった。わたしの名において何でも父にあなたがたが願うならば、あなた方に（父は）与える。²⁴今まで、わたしの名において、何もあなた方は願わなかった。求めよ、そうすればあなた方は受ける。あなたがたの喜びが満たされているように。」

